

令和 7 年度 第 2 回佐倉市子育て支援推進委員会 会議録

会議名称	令和 7 年度 第 2 回佐倉市子育て支援推進委員会
開催日時	令和 7 年 8 月 1 日(金) 午後 1 時 1 5 分～午後 3 時 30 分
開催場所	佐倉市役所 社会福祉センター3 階中会議室
出席者等	●委 員 阿部委員長、本間副委員長、秀島委員、荒畑委員、和泉委員 飯田委員、田中委員、中川委員、大西委員、中間委員、 藤平委員、安江委員、桑原委員 ●事 務 局 こども政策課 辻口課長、田中副主幹、長谷川副主幹 榎主査補、根本主任主事、檜垣主任主事、金澤 主事 根郷保育園 田口園長
会議議題	(1) 子育て支援推進委員会と青少年問題協議会の改編について (2) 根郷保育園民営化について ・全体的なスケジュールについて ・子育て支援推進委員会委員の追加について（保護者公募） ・保護者アンケートについて ・ニーズ調査結果について

【 1 開会】

【 2 議題等】

(1) 子育て支援推進委員会と青少年問題協議会の改編について

(2) 根郷保育園民営化について

- ・全体的なスケジュールについて
- ・子育て支援推進委員会委員の追加について（保護者公募）
- ・保護者アンケートについて
- ・ニーズ調査結果について

【 3 報告】

(1) 幼稚園、保育園、認定こども園と小学校との連携について

【 4 閉会】

議題 1 子育て支援推進委員会と青少年問題協議会の改編について

(事務局)

事務局から「資料 1 子育て支援推進委員会と青少年問題協議会の改編について」に基づき、子育て支援推進委員会と青少年問題協議会の改編について説明。

本日は、両委員会を統合するという大きな方向性と、お気づきの点についてご意見いただきたい。

(委員長)

青少年問題協議会の方でどのような議論がされているか不明な点もあると思う。もしわかれば青少年問題協議会の方でどのような意見があったかご説明いただきたい。

(事務局)

青少年問題協議会は昨年度 2 回開催されている。青少年に取り巻く課題等を話し合っている。

昨年は第 2 回においてこども計画の素案の確認を行った。現時点では今後統合の方向でという話し合いが軽くされたが、具体的な中身等に関しては話し合っていない。今後意見を出し合いながら提案していく予定である。

今年度は 9 月中に第 1 回目の開催を予定している。

(委員長)

難しいところもあるかと思うがご質問等あればいかがか。

(委員)

事前送付資料の中には構成員として PTA が入っていたが、学校としては PTA の活動が活発ではないため、意見が聞けるのかは不安だと思っていた。

しかし、本日配付された資料には構成員として入っていなかった。違う理由を教えていただきたい。

(事務局)

構成員を考えるにあたり、例えば青少年相談員は PTA や保護者の方々も多いため、兼ねられると考え今回の改正案には入れなかった。しかし入れないというわけではない。構成員の内訳に関しても議論していただけるとありがたい。

（委員）

案になかった民生委員、児童委員が入っていてよかった。

（事務局）

以前のものは検討段階のものを送ってしまった、申し訳ない。

（委員長）

他に質問等ある方はいらっしゃるか。

（委員）

こどもどまんなか佐倉のところにしりあぶりねこがいる、普及していくのか。

（事務局）

こども計画の基本理念である、こどもどまんなか佐倉を普及していきたいというものがあり、こどもにも訴求できるよう親しみやすいしりあぶりねこを使用したという経緯がある。こども計画はこども版もあり、子ども向けに4コマ漫画等も掲載している。子どもにも興味を持ってもらえるよう作成した。

（委員）

市民としてどのようなキャラクターが定着していくのか興味があった。キャラクターも大いに出していただいて、より皆さんの興味の引く対象になったのであればよいと思う。

（委員長）

その他ご質問ご意見のある方はいらっしゃるか。

（委員）

この場で決めることについて、構成する方はどのような方を入れるかということを決めるということでしょうか。

（事務局）

本日は大きな方向性と感想があれば意見をいただきたい。

2つの委員会はそれぞれ役割があるため別の方がよいのではないかと思いますのであれば意見が欲しい。構成メンバーについてはこの場で決めようと思っているわけではなく、今の段階でもし意見があれば出してほしい。統合する方向性で良いということであればもう少し事務局の方で案を練

り、11月にメンバーや人数も出していこうと考えている。

（委員）

感想としては障害児や療育を必要としているご家庭や療育施設の施設長・職員の方に入っていただけるといいと常々考えていた。案に書かれているものだと社会福祉協議会が福祉の面ではあてはまると考えるが、保育園・幼稚園の長、小中高校の長のところに療育関係の長も入れたら良いのではないか。

また、人数に関して20名程度を想定とのことだが、会議が統合した後の頻度・回数を教えていただきたい。会議の内容によって構成するメンバーを変えらると思うが、青少年問題協議会が年度2回と少なく子育て推進委員会の方が回数が多い。会を統合した後の回数は何回ぐらいを想定しているのか。

（事務局）

会議の回数に関して、子育て支援推進委員会は5回、青少年問題協議会は2回である。兼ねられるだろうという部分があるため、子育て支援推進委員会のペースを考えている。

（委員長）

先方の委員会の内容がわからないということもあるが、そもそも統合しない方がよいという反対意見やその他の意見のあるかたはいらっしゃるか。

（委員）

中身については見えないということがあるが、統合するにあたって、懸念点はボリュームについてである。広い範囲のことを話すことになる。今まではそれぞれの委員会で専門性のある方々が話し合われており、内容が濃い議論が出来ていた。統合となると一度に幅広い範囲のことを取り扱うことになるが、幅広い目線で物事を見ていかなければならないとなると、内容が薄くならないか。

（事務局）

議論を深める必要のある時には適宜必要な部会として専門性のある方にグループで、あるいは加わってもらうことで質の担保をしたいと考えている。

（委員）

必要に応じてグループでの会議や専門の方に加わっていただくというこ

とか。

（事務局）

その通りである。細かい形で別途行うことも検討している。

（委員）

今回、組織については、基本的に佐倉市こども計画の進捗状況等の確認するための組織体であるという認識をまずは持っておいて、専門的なことの議論を行うときには専門委員が集まって部会という形で対応・議論をするという認識でよろしいか。

（事務局）

必要に応じて、専門性を深めた議論が必要な場合には専門性の高い方々の部会を設置し、議論を進めていくということがよろしいのではと考える。

（委員長）

ご説明いただき感謝する。その他にはご意見のある方はいらっしゃるか。

【意見なし】

（委員長）

では私から意見を述べさせていただく。皆さんと同じく人数についてである。

この委員会の内容は子育て支援の施策の具体的なものを、皆さんそれぞれの立場から議論するというものである。人数によっては一人一人の意見を必ず聞けるが、人数が多くなると一部の人が発言できないということにはならないか。部会の話が出たが、基本的には現在の人数に新たにさくらんぼ園等の療育施設従事者に入っていただくくらいの規模感でとどめておいた方がよいのではないかと考える。専門家の意見が先行ばかりしてしまうとなるとせっかく市民の声も聞ける委員会なのにもったいないと考える。なかなか市民の意見というのは吸いあげにくいと考えていた。20人程度とのことだが12～15人が限界なのではないか。個人的な意見としては人数は現状の維持をしていただきたい。所感レベル、経験レベルでは20人は多い。

また、こども計画の方でこども基本法での年齢対象は中高校生の意見をもらうというのが制度のベースになっていると印象がある。しかし、就学前のこどもに対する支援、義務教育一手手前の支援が必要なこどもた

ちの具体的な対応をどうするかという内容があるため、テーマによる振り分けが必要なのではないか。

小中高の先生方が入ってくるとなると、未就学児の話をしている時にズレが生じるのではないか。

具体的なテーマ、従来行われている保育園運営等のこども政策は維持しつつ、こども基本法にあるこどもの意見を吸い上げるときには大所帯になってもいいのではないかと政策を見ていて感じた。

他市もこのような話が出ていると思う。今のこの委員会の形はある意味皆さんの意見をくみ取りやすいと感じている。もし統合するならこどもの意見、意見表明権等の時には大所帯でもいいが、基本は人数のベースは変えない方がよいのではないか。こども基本法だとこどもの意見が大前提になっており、こども政策の具体的なところは順位的には2番目、3番目である。現状の人数を維持しつつ、テーマによって必要な時に入ってもらい形がよいのではないか。特に根郷保育園の件は具体的な方向性を決めていくのは皆さんの意見が必要になってくると考える。統合について基本的に否定はしないが、基本法に合わせてしまうとこども政策という部分は薄れてしまう気がするので検討したほうがよいのではないかと考える。

その他皆さんの中で感じられることがあればいかがか。

事務局に聞くが、統合か否かまで決めた方がよろしいか。

（事務局）

統合するか否かを決めるのは1月の議論でもよいと考えている。

私自身、今の人数に対して、活発な意見が出ていてよいと思っている。大所帯になったことで議論が薄まるということが望みではない。今回の意見を踏まえて11月に検討をしたい。

（委員長）

では、方向性の決定というより保留になったが、次の11月の委員会で青少年問題協議会でどのような議論がなされていたのかというのをご提示いただけると見当がしやすいのではないか。メンバーだけ見てもイメージが付きにくい。どんなテーマ議論がなされていたのか資料をご用意いただきたい。

それを踏まえてもう一度時間をいただきたい。

（事務局）

承知した。事前に青少年問題協議会の議論内容の資料をお送りする。次回11月の委員会にて統合する案だけにかかわらず、開催方法等も含めて

改めて議論いただく形にしたいと思う。

（委員長）

では議題 1 については資料を見て再検討していくということで進めさせていただきます。

議題②－1 根郷保育園民営化について 全体的なスケジュール

（事務局）

事務局から「資料 2 根郷保育園民営化のスケジュール（案）」に基づき、根郷保育園民営化のスケジュールについて説明。

（委員長）

ご説明いただき感謝する。根郷保育園民営化につきスケジュール、委員の追加、保護者アンケート等あるが、後期の大きな主題になってくるものである。まずはスケジュールについてご意見等あれば伺いたい。南志津保育園の時などもご存じの方いらっしゃるかと思う。その際スケジュールが伸びた等気になるところもあれば伺いたいがいかがか。

（委員）

勉強不足で知らないだけであれば申し訳ないが、新園の場所はいつ、どの段階でどなたが決めるのか。

（事務局）

スケジュールでいうと新園の選定は F、要綱等の検討決定は D である。どこに設置するか、または駅から近い等こういった条件であれば高く評価するかというところをこの委員会で議論していただきたい。

（委員）

それは候補がいくつかあり、その中から委員会で場所を決めるのか。

（事務局）

運営事業者から募集をしている提案が上がってくると思われるが、前回の南志津保育園の時は、子育て支援推進委員会の中で 5 ～ 9 人くらいの部会を作り、各案を点数化し決定した。今回も同様で良いのではないかと考えている。

（委員）

事業者を決めて場所を決めるのか、事業者が決まったら場所を決めるのか。

（事務局）

事業者が提案してくる中で同じ場所で、という案もあれば、違う場所の方がよいという案も考えられる。その中でそれぞれの評価をして部会の中で決定していくのがよいのではないかと考える。

（委員）

ご説明いただき感謝する。承知した。

（委員長）

ご説明いただき感謝する。提案の内容次第であるということを理解した。他にご意見等ある方はいらっしゃるか。

【意見なし】

（委員長）

部会を作るということがあったが、提案を受けてから部会を作るということか。

（事務局）

募集要項について、どのようなニーズかなど内容については部会で決まると考えている。

また、何をどのように点数化し評価するのかという点についても、前回の際には部会で議論しあらかじめ決定していた。実際に事業者から案が来た際はその採点表に基づく採点を行った。

（委員長）

ご説明いただき感謝する。

それが民営化ガイドラインの基礎的な考え方ということか。それともガイドラインは単純に基準ということか。

（事務局）

ガイドラインはもう少し大きな枠組みである。何を大事にして事業者に引き継げば円滑にできるかという部分が主になるものである。運営事業者を選ぶ要綱・選定の基準についてはより具体的なものであり、数値化をする作業であると考えている。

（委員長）

ご説明いただき感謝する。この委員会に並行して事業選定のための部会が出てくるということを理解した。他にご意見のある方はいらっしゃるか。

（委員）

スケジュール案の E、H にて乳児と 1 歳児の募集停止とあるが、現在代わりの受け皿、余力はあるのか。

（事務局）

4 月 1 日時点で待機児童 0 である。人気があって入れない園はあるが選ばなければ入れる。空きはある。

（委員）

ご説明いただき感謝する。

（委員）

根郷保育園といえば学童も関わってくる。学童のスケジュールどのようになっているか伺いたい。

（事務局）

根郷保育園の角地にある学童についてはまだ議論が錯綜しており決め切れていない。学童保育所は学校の中に整備していくべきではないかという話も出てきており、寺崎小学校との協議や内部で調整中である。今の時点では学童保育所についてはスケジュールに入っていない。

（委員）

学童供給量の見込みや調整が必要になってくるのではないかと。学童についてうまく調整がなかなかした場合、スケジュールの問題も出てくると思う。民営化のスケジュールを動かしていく中で学童の問題は入ってくると思われる。その辺の情報も情報共有していただけるとありがたい。民営化するにあたり運営事業者の募集要項や民営化ガイドライン等にも関わってくると考える。どのような園にしていくのかということのも考えるにあたり、考慮すべき点と考える。今後も進捗状況等の情報共有願いたい。

（委員長）

ご意見いただき感謝する。現在行われている学童を置き去りにされるわけではないと思うが、情報がないと心配になると考えるため、情報共有

願いたい。

時系列の流れとして前回の南志津保育園の方法と変わらないということ
でよろしいか。新たに何か特別な事情が入る等はあるか。

（事務局）

前回の南志津保育園のスケジュール・方法についてはうまくいったと考
えており、基本的には変更なく進めてよいのではないかと考える。
部会に関しては前回同様に行う方がよいのではないかと考えているが、
決定ではないため意見を伺いたい。

（委員長）

ご説明いただき感謝する。

一点質問がある。時間的に長期化し懸念事項が出てくるのではないかと
いう点である。現在、建築資材の高騰や建築工事の停止等が起こってい
るため、事業者選定し募集を停止してから長期化するとなると物価高騰
や学童との兼ね合い、様々な懸念事項が出てくるのではないかと危惧し
ている。柔軟な検討が必要ではないかと考える。

（事務局）

ご意見いただき感謝する。そのようなケースも含め考慮する。

（委員長）

では、流れとしてはこのような流れで、学童の件を含めて今後もご説明
いただきたい。

長期化のものであるため、皆さんのご協力が不可欠になる。

次に子育て支援推進委員会の委員追加について検討する。

了解か否か検討いただきたい。まずは事務局にご説明をお願いしたい。

議題 2-2 子育て支援推進委員会委員の追加について（保護者公募）

（事務局）

**事務局から「資料3 委員の追加について」に基づき、子育て支援推進
委員会委員の追加について（保護者公募）について説明。**

（委員長）

ご説明いただき感謝する。まずは追加するかもあるが、どんな方を入れ

るか等質問がある方はいるか。

【意見なし】

（委員長）

仮の案としてはいかがか。

（事務局）

これから保護者の方に民営化について説明すると同時に根郷保育園保護者の意見を反映させるため、2名程度を公募にて募集したいと考えている。

（委員長）

2年間は委員会に在籍していただくとするが、途中退園・卒園してしまった場合はどのようにするのか。

（事務局）

途中退園しない方がよいかは考える。

（委員長）

そうすると5歳児の保護者は卒園となってしまうため対象外にした方がよろしいのではないか。

（事務局）

条例で任期2年と決まっているため記載している。少なくとも事業者の募集要綱の決定・ガイドラインの決定までは参加していただきたいと考えている。

（委員長）

当事者である保護者の方に参加していただくことは賛成でよいのではないかと考える。

いつから参加していただく予定なのか。

（事務局）

急で申し訳ないが次回からの参加を検討している。

ガイドラインのたたき台を次回から出し、検討開始したいためである。

（委員長）

ご説明いただき感謝する。

（委員）

当事者が入ることは賛成である。

公募とあるが、保護者の代表となると保護者の総意で立場をわきまえて委員会に入っていただきたい。公募だといわゆる声の大きい方や特定の考えの方がいらっしゃる恐れもあるのではないかと考える。保護者の総意で、保護者の意見をまとめて代表として来られる方がふさわしいと考える。

（委員長）

ご意見いただき感謝する。根郷保育園では保護者会はあるのか。

（事務局）

PTAは存在していない。

実際に集まっているのは5歳児の保護者が有志で行っている卒園対策としての活動のみである。保護者の代表という方はいない。

選出は難しい可能性がある。

（事務局）

委員の意見の趣旨も理解した。公募と単純に考えていたが、なにか他の手段があるか検討する。

（委員長）

ご意見いただき感謝する。

そうなると実際に参加してもらおうということを決めるということも難しくなるのではないか。

議論自体は始まっているため、必ずしも11月から保護者の方に参加していただくというものでもないのか。途中から参加していただくのはいいかが。

（事務局）

ガイドラインの作成から保護者の方に入っていただく方がよいのではと考えてはいる。

確認だが、今の段階だと保護者の方に参加していただくことは反対ということではないということか。

（委員長）

そうである。

（事務局）

意見を受けて、選び方として公募で考えていたが、公募ではなく他の方法を検討していきたい。もし委員会として追加が反対なのであれば意見をいただきたいと考えていた。

手段を決めておかないと委員会としても判断できないということによろしいか。

（委員長）

ある程度バランス感覚のある方であってほしい。結局、今委員会にあった質問やご意見に対して市からこのような形で進めるというのをフィードバックがなく、わからないまま次の委員会が始まってしまうのは皆さん驚かれるのではないかと考える。この議題は比較的大きいものだと考えるため、いきなり、この２人ですとなると皆さん疑念が残ってしまうのではないかと考える。選出に当たるプロセスの開示が必要ではないか。そのプロセスの開示が間に合わなかったらまた次の時から参加というような了承をもらう必要があるのではないか。

当事者の方も民営化が出来上がるときには自身の子どもは根郷保育園に通っていないということもある。自分の子どもではなく、あくまで「次の世代の子たちに対してどうするか」ということが趣旨であるということを理解してもらう機会を作るのも必要かと考える。意見を言いたいから出てくるというものではないことを理解してもらう必要がある。

公共的な、今の佐倉のこどもたちをどうするかというのを踏まえて、ご意見をいただく。当事者意見が強すぎても問題になってしまうのではないか。今後のことを考えながら話していく、そのことを踏まえてとなると、公募だと疑問が残る。応募された方にも説明会が必要なのではないか。

総じて時間が必要ではないか。

（事務局）

ご意見いただき感謝する。

（委員長）

否定しているわけではなく、説明が必要だと考える。

（事務局）

保護者の方が入ることは賛成ということによろしいか。

（委員長）

それはよろしいと考える。

（事務局）

公募ではなく進め方の検討が必要ということでよろしいか。

（委員長）

そうである。

（副委員長）

南志津保育園民営化の時はどのように選出したのか。

（事務局）

南志津の時は父母の会があった。公募もかけていたが手が上がらなかったという経緯があった。

（事務局）

南志津保育園民営化の当時、南志津幼稚園の園長だった。南志津保育園の時は公募をしたが応募がなかったため、父母の会の会長・副会長に話を持って行ったところ、快く受け入れてくださった。父母の会でも承認を受け会長・副会長になっておりその方をお願いしようという経緯がある。

（事務局）

ご説明いただき感謝する。

（副委員長）

市役所職員が根郷保育園に説明に行かれるときに、このような代表の方が必要だということを伝えたらよいのではないか。先ほど委員長もおっしゃっていたが、先のことを考えての意見をいただきたいため、賛同される方で立候補される方はいらっしゃるか、といった趣旨を伝えた上で募れば、個人的な意見を持った人は希望的観測だが、削がれるのではないか。保育園の保護者は忙しい。日中仕事を休んでこのような委員会に出てくることはかなりハードルが高いと推測する。そのため南志津保育園の時も公募は手が上がらなかったのではないか。

個人的な経験で保育園を作るときに別の方に言われたのは、賛成の人は基本的に意見を言わない。反対の人は2人でも3人でも必ずグループを作り意見が上がるため、反対の声しか上がらない。そのため反対がほとんどのように見えてしまいがちである。私もそうだと考える。そのため、保護者の意見として手が上がらないということは、社会情勢を考えても

賛成であるという意見の反映となるのではないかと考える。

その様な状況で無理やり委員会出席の打診をしても負担が多い、保護者にとって荷が重いのではないか。

（事務局）

ご意見いただき感謝する。公募をかけるとして、応募がなかったときは無理には行わない形で行おうかと考える。

（副委員長）

在園の保護者の方にガイドライン等の資料は渡す、意見があったら出していただくという形であればいかがか。何か重大な事柄の際には、都度市で説明会等を開くという形の方がスムーズであり、保護者に負担が少ないのではないかと考える。民営化にあたり園児・保護者にとって影響は大きいと、保護者への説明はその都度しっかりと行う、意見を出す機会の創出をすることは必須であると考えている。

（事務局）

理解した。ご意見いただき感謝する。

（事務局）

委員会の皆さんの意見を受けて保護者の方には入っていただきたいというのは総意であると考えている。また、1年2年先のことなく卒園した後の話だが、根郷保育園の将来について考えていただける方を募集したいという前提で公募をかけたいと考えている。公募があれば委員会に参加していただき、ない場合は協議結果の資料等送り、保護者からの意見を募るというような形で進めていきたいと考えているがいかがか。

（委員長）

趣旨説明をして公募をかけ、賛同していただいた方に委員会に参加していただく、時間等の制約もあるため、立候補がいなかった場合には情報提供・アンケート等を含めて関わりは通す。あえて誰かを推挙していただくということはしないということによろしいか。

【意見なし】

（委員長）

ではそのような形でよろしく願う。

次に保護者アンケートと職員アンケートについて説明をお願いしたい。

議題 2-3 根郷保育園民営化について 保護者アンケートについて

事務局から「資料4 保護者アンケート案」「資料4-2 保育士アンケート」に基づき調査の目的・対象・期間・方法・説明案について説明。

（事務局）

アンケートは対面で説明をしながら行いたいと思っているため、アドバイス等あればいただきたい。

（委員長）

ご説明いただき感謝する。追加で聞いた方がよい設問があればいかがか。基本的には自由記述があるということで間違いないか。

（事務局）

そうである。

（委員長）

何か意見のある方はいらっしゃるか。

（委員）

保護者アンケートについて、居住区域を確認したほうがよいのではないか。送迎方法の設問もあるが、新園が別のところに移転した場合も考えられるため、あわせて聞いた方がよいのではないか。また、保育士アンケートにおいては職種（保育士・調理師・用務員）を聞いたほうが職種によつての傾向がわかってよいのではないかと考える。

（委員長）

ご意見いただき感謝する。居住地と職種を追加したほうがいいのではないかという意見であった。

（事務局）

保護者の住所はわかるため不要ではないかと考える。職種については、匿名性も確保しなければならない。そのためそのあたりは検討しながら行いたい。

（委員長）

保育士アンケートは保育士のみか。

（事務局）

保育士のみではなく用務員、看護師、調理師等職員を検討している。園にその職種が1人だった場合、匿名性が保たれないというところがあり、自由闊達な意見のために伏せていた方がよいかと思うがいかがか

（委員長）

根郷保育園を利用している保護者の方々の住まいの地域は広いのか

（事務局）

根郷小学校付近から臼井地域、寺崎小学校近く、根郷地区、佐倉高校あたりの方もいらっしゃる。

（委員長）

中心地から20キロメートル等、距離で推測をかけていったらいかがか。中心地からどのくらいかというものがあれば利便性が図れるのではないか。居住地は調査としては必要だが、距離を測ることによってどこにどのようなニーズがあるのかわかるのではないか。

（委員）

距離を訪ねるよりもなぜ根郷保育園を選んだかという質問すれば、近いから、通勤に便利だから等のこちらの聞きたいことが確認できるのではないか。

（委員長）

そもそも選んだ理由を聞いてしまうという案だが、いかがか。保育園に求めているものを単刀直入に聞いてしまう。あえて選択制ではなく自由記述で聞いてしまうという形ではいかがか。

（事務局）

匿名性も担保されていいと思われる。自由記述として「この保育園を選んだ理由」を追加する。

（委員）

根郷保育園をなぜ選んだかというものは必要であると考え。さらに、次の民営化した後の保育園に通うかどうかというプロジェクトのため、4番の民営化につき特に重視してほしい点という箇所、「新しい保育園の場所は今の根郷保育園の場所からどのくらいの範囲だったら通うことが可能か」という趣旨も入れた方がよいのではないか。なぜ根郷保育

園を選んだのか、と聞き「公立園だったから」「給食がおいしかったから」と回答された場合、この質問の趣旨からは関係ないことになってしまう。南志津保育園民営化の際に在園児が移行しなかった理由は場所があまりにも変わってしまったためではないかと市民として感じている。新たな園ができた際に新たな方が通いたいと考えることはもちろんあると思うが、在園児のための民営化という点を考慮すると場所が重要ではないか。そのため、新しい園の場所に関する質問をしたらいかがか。

（委員）

同じく場所に関してである。4番の項目に通園の利便性というチェック項目を追加し、さらにその理由を記入してもらうのはいかがか。車、自転車、電車等利用している交通手段・環境の違いもあるため、その人なりの便利なポイントを記入してもらうのが良いのではないか。

（委員長）

ご意見いただき感謝する。

色々な地域から通っている可能性があるため、聞いてみる価値はあると考える。新規園に対しても交通便利性の重要性も高いと考えられる。民営化に関するご意見として3つまでとなった際に、距離は上位に入ってくると考えるため、アンケート項目の中に「現在の園を選んだ理由（自由記述）」「今後民営化した園に対し何を求めているか」2点を追加することによってよろしいか。

（委員）

5「新たにサービスとしてほしいものは」、6「民営化に対して不安に感じていること」はこれからのことを想像した質問であり、意見が出づらないのではないか。

「今」根郷保育園に対しての満足点、改善点があれば今経験していることを書くため細かな意見が出るのではないか。そこから継続していくこと、改善点も分かるのではないか。保育士アンケートも同様である。

（委員長）

現状と今後の課題・今後期待することを入れた方がよいということによってよろしいか。

（委員）

現状の感想である。根郷保育園の改善にもつながり、よりよいのではないか。

（事務局）

保護者へのアンケートは毎年行っており、ご意見ご要望の結果を公表しているため、現状の保護者の意見は情報として読み取ることができると思う。11月～12月にアンケートを行う予定のため、保護者への不信感につながらないように重複を控えたい。現状の保育園に関するアンケートは今後の保育園に関するアンケートで網羅し、今回のアンケートは民営化に関する内容にするのはいかがか。

（委員）

その内容は貴重な意見のため情報公開していただくことは可能か。

（事務局）

ホームページにて公表をしている。

（委員）

拝見する。感謝する。

（委員長）

改めて委員会でも確認をしたいと思う。

そのほかご意見いかがか。

（委員）

付け加えではないが、自由記述が3項目あるのは保護者にとって負担が強いのではないか。

自由記述欄は必要だと思うが、5は選択制にしたほうが回答が容易になり回答率が上がるのではないか。空欄も減るのではないか。書きたい人用に「その他」欄を作成したら何か意見がある方は書いてくれると考える。いかがか。

（委員長）

項目5は選択制にし、その他欄で自由記述として負担感を減らすということだが、いかがか。

（委員）

今の意見を受け、自由記述に関しては不満は強い方が書く、選択式だと不満の程度は小さくても簡単に不満を述べるだろうと考える。思いの重さが違うと集計側が大変ではないか。

この項目をどのような趣旨で入れているかにもよるが、特に意見があれば知りたい、という意図であれば自由記述のままの方がよいのではない

か。

どういう意図で項目を入れるかで変えたほうが良いのでは

（委員長）

項目 5 の新たに導入してほしいサービスに関してはピックアップができるため、選択制でもよいのではないかと考える。項目 6 に関しては不安を項目設定するのは難しいのではないか。

（委員）

項目 5 に関して、新たに導入が決定しているものを書かなくてはならないため、難しいのではないか。

（委員長）

どのサービスをピックアップするのは困難であるが、負担も減らしつつどのような形が良いか

今回はネットで回答してもらうため、紙よりは敷居は下がっていると考えるが、質問の意図が汲み取りにくい可能性がある。決めがたい。

（委員）

誘導になってしまう可能性があるため入れづらいが、自由記述の例を入れたらどうか。このままの形だと、オープンな質問のため、何を書いたらいいかかわからないとなってしまうのではないか。記述例を入れることで思考の方向性のある程度誘導できるのではないか。

（副委員長）

南志津保育園民営化の時、保護者からの多くの意見が今ある行事を続けてほしいという意見が多かった。新たなサービス等を聞いていなかったからということもあるかと思うが、民営化先の保育園で具体的なこれをしてほしいという意見はなかった様に思う。どちらかというとも基本的には園に対し満足しているという意見が多い。今満足しているものは民営化しても継続してほしい、と考えている保護者に新たなサービスを聞いてもあまりピンと来ないのではないか。民営化になったときに新たなサービスがついた場合、ラッキーと思うとは考えるが、ここで新サービスに関して聞かなくても問題がないのではないか。また、6 番に関して入れるのであれば自由記述の方がよいと考える。もし項目化するとすると 4 番と表裏一体となる質問項目ため、ひょっとしたら聞かなくても項目 4 にて網羅できるわかるのではないか。

（委員長）

ご意見いただき感謝する。

（委員）

部会が立ち上がるかはわからないとのことだったが、項目5は私たちが事業者を決定する際に皆さんが期待している送迎バスとか行事の開催等のサービスを提案してくれる事業者であるというところで加点をつける項目にあたると考えていた。あれば判断材料になると思う。

（委員長）

不安のことだけを聞くわけにはいかない。項番4、項番5は必要になってくると考える。ただし集約できないわけではない。今後民営化するにあたり期待することは何かと端的に書けばある場合は不安をベースにした期待を書いてくる可能性はある。その場合項番5と6が統合させることになるが、いかがか。もちろん空欄ということもあるため、皆さんの意見で新しいサービスについてしっかり聞いた方がいい、不安をしっかりと聞いた方がよいというものがあれば載せた方がよいと思われるが、強く入れなければいけないと考えるものではないのであれば4で網羅でもよいのではないだろうか。新しいサービスと不安を聞く項目を分けてしまったが故に難しくなっている可能性もあるため、一つまとめてみるというもの手ではないか。

（事務局）

ご意見いただき感謝する。確認だが、保育園を選ばれた理由は自由記述として入れるということで間違いないか。

（委員長）

そうである。

（事務局）

保育園を選ばれた理由を自由記述で入れるとともに、さらに今の場所から何分くらいの場所であれば良いかということによろしいか。

（委員長）

それは基本的には理由に含まれる形にする。自由記述が多すぎないようにするためである。

（事務局）

承知した。では保育園を選ばれた理由を自由記述で入れるということが大きな項目の1つである。また、項目4, 5, 6をまとめて今後民営化

するにあたり期待することは何かと自由記述にするということで間違いないか。

（委員長）

項目 4 はそのまま自由記述の負担感を減らしてはいかがか。

（事務局）

項目 5, 6 をまとめて今後期待することは何かという自由記述に変えるということで間違いないか。

（委員長）

そのような方向でまとめていくことの提案である。

（事務局）

承知した。では今回の意見を踏まえ検討するということによろしいか。また、項目 4 は、追加で通園の利便性の選択肢を入れるということによろしいか。

（委員長）

そうである。

また、調査の目的だが、事業者募集要項に反映するとあるが、参考にするでなくてよいのか。

（事務局）

あくまでこの資料はこの委員会に提案するためのものであり、事業者募集要項の反映の参考にする程度の趣旨にしようと考えている。

（委員長）

承知した。いろいろな皆さんからの意見をいただき感謝する。

議題 2-4 「佐倉市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」「障害福祉に関するアンケート調査結果」について

（委員長）

ニーズ調査について、このような結果だったということを事務局から報告していただき、今回検討した保護者アンケートの結果とともに、改めて次の委員会で皆さんに検討していただくという方向で進めたい。ではニーズ調査について事務局からご説明いただきたい。

事務局から「資料５ 佐倉市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」「資料６ 障害福祉に関するアンケート調査結果」について説明。

（委員長）

この地域に住んでいる方の求めていることを福祉的な観点からの根拠資料があれば私たちもどのような機能を追加していけばよいかという材料になるということで今回資料をいただいた。直接的にかかわることではないかもしれないが、お時間あるときに目を通していただいて、何か気になるところ等あれば皆さんからの意見を次回いただきたい。今回の委員会での議題は以上である。

続いて佐倉市架け橋プログラム推進事業について事務局より報告いただきたい。

報告１ 佐倉市架け橋プログラム推進事業について

事務局から佐倉市架け橋プログラム推進事業について取り組みの概要等について報告。

（委員長）

今後は全園が関与していくということで質問はいかがか。

【意見なし】

（委員長）

では、すでにこの内容の公表はされているのか。市民にオープンな情報として出していくのか。

（事務局）

議事録等では行っているが、今後より PR していく。

（委員長）

そのほかにご意見ご質問等いかがか。

【意見なし】

（委員長）

最後にすすくさくら こども計画について資料として置いてあったためご説明いただけるか。

事務局よりこども計画について説明。

（委員長）

ご説明いただき感謝する。

それでは以上を持って第二回子育て支援推進委員会を終了とさせていただく。有意義で闊達な意見をいただき感謝する。

（閉会）